

# 射水市議会 議会報告会

10月26日  
(10時開催)

---

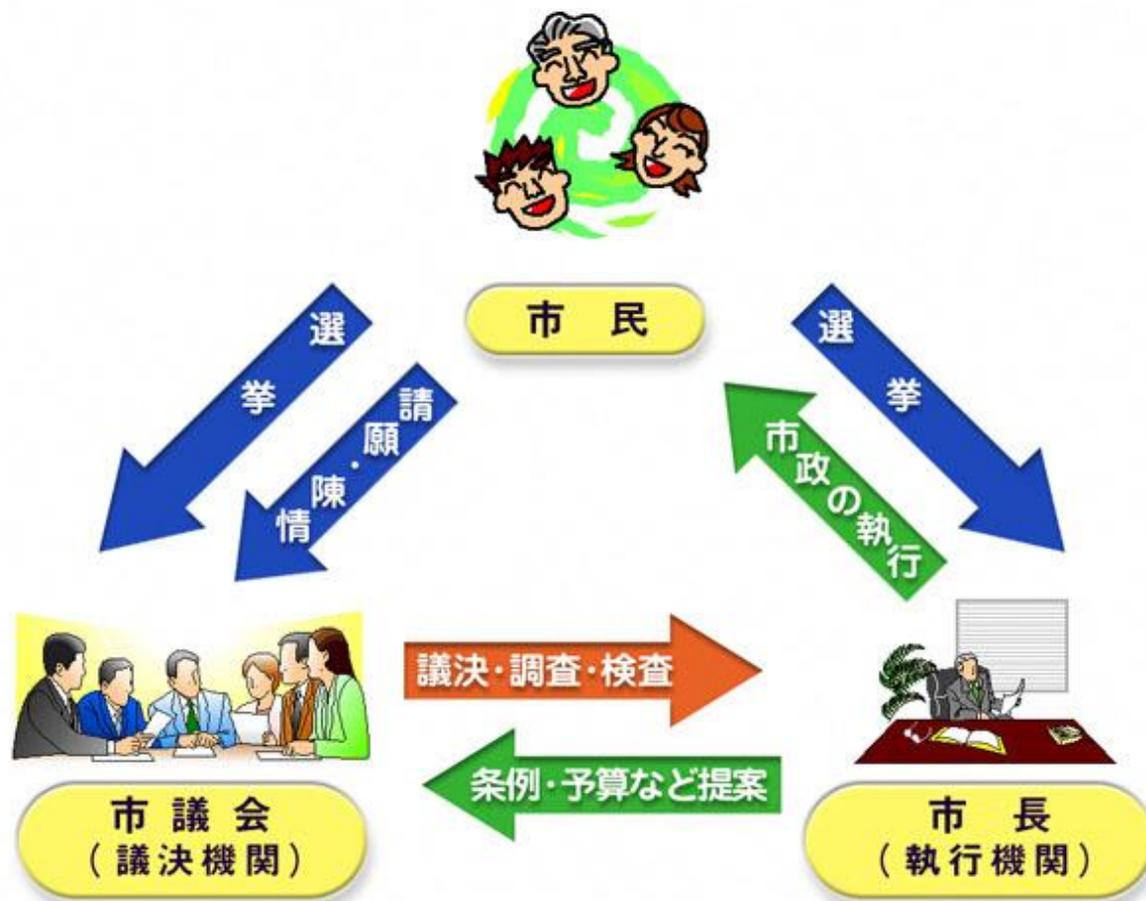
会場

キッズポートいみず



# 本日の議会報告会内容

1. 地方自治体の組織
2. 議会活動改革と  
議会費改革
3. 議会の問題点
4. 今後の検討内容



# 1. 地方自治は二元代表制

市民が直接選挙で首長（市長）と議員（射水市定数22人）を選ぶ  
（国会の議院内閣制とは異なる）  
アメリカの大統領制に似ている



市長の権限 執行権を持っている  
（予算や条例などの議案を議会に提出、  
職員人事を決める）

## 議会の使命



1. 議会の使命である具体的政策（予算・議案）を最終的に決定する
2. 行財政の運営や事務処理・事業実施が適法・適正に行われているか監視  
議会を運営する議員（定数22人）

執行権を持つ市長が独断専行できないように議会の議決が無ければ執行できない（日本国憲法において双方その権限を均衡させている）

市長や議会はそれぞれ**市民の福祉向上と地域社会の活力ある発展**という共通の大目的がある

## 2.射水市議会改革の推進について

早稲田大学マニフェスト研究所

2018年議会改革度調査ランキングにおいて

全国地方議会（80.9%）1447議会

460位から



193位となる

射水市議会の改革度が**上昇**

**市民の信頼度が高くなる**



# 防災訓練

## 議会基本条例を制定したこと

議会基本条例に基づき下記のことを行った

- ①議会報告会の開催
- ②議員間討議の実施
- ③議員の災害時行動計画の策定  
その他
- ④タブレットを導入し議会の  
ICT化を推し進めた

などが考えられます



# (1) 議会費改革 射水市議会費の推移について

年度	議会費				単位：千円		(人)
	合計金額	議員費		議会事務局 職員給与費	議会運営費	議員定数	
		議員報酬	議員共済				
H18年度	392,467	272,606	253,188	19,418	68,761	51,100	35
H22年度	293,421	205,798	183,323	22,475	52,864	34,759	26
H26年度	300,958	213,642	153,417	60,225	47,725	39,591	22
R1年度	280,236	191,874	151,616	40,258	50,471	37,891	22 (21)

これまで議員定数を35人から22人に削減

議員報酬額を約1億150万円削減

議会費総額においても約1億1,220万円削減



## (2) 議会費改革 政務活動費について

平成20年4月 会派支払い から 議員個人支払いに移行

平成21年 政務活動費の議員別支出先・支払い内容をHPで公開（当時先進的 県内議会初）

平成29年 政務活動費の収支報告書・領収書原本をHPで公開

平成29年4月 政務活動費の精算払い（後払い）を開始



# 3. 議会の問題点

## 議員のなり手不足

- 当局の監視機能及び市民意思の反映が低下する
- 市民の福祉向上や地域社会の発展に  
寄与できにくい
- 議事機関の権能が発揮されない  
(執行機関の独断専行を懸念)
- 議会審議の空洞化を懸念
- 若手議員・女性議員のなり手不足



# なり手不足の原因

- 議員の職務がわかりにくい
- 議員が身近に感じられない
- 政治に興味がない
- 議員の社会保障・年金制度がない（個人で対応）
- 議員報酬が仕事量に見合わない
- 選挙がしたくない  
（大変だ、お金がかかる）
- 近年イメージが悪い



## 4. 議員懇談会等で検討中

- 議員定数が現状22人で良いのか
- 議員報酬の額が適正なのか（報酬審議会決定）
- 社会保障がサラリーマンに比べ劣っているのか 等

今後も議会改革を推進し、  
より良い議会となるよう  
努力致します



ご参加いただき  
ありがとうございます  
\_\_\_\_\_  
いました

